

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	額娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

活動月	令和4年2月（着任11ヶ月）
主な活動	1. 番所鼻公園・瀬平公園でのイベントの開催 2. 番所鼻公園の森の取り組み 3. シーホーウォークの案内マップ作成

1. 番所鼻公園でのイベントの開催

番所鼻公園でのキッチンカーイベント「絶景ごはん」の8回目を2月27日（日）に開催しました。今回は、ふれあい瀬平公園でも同じくキッチンカーイベント「せびらビュー」も同時開催し、昨年末の瀬平地区の景観ワークショップの中で議論された「地元で出来ることから景観整備や公園の利活用につなげていきたい」という想いに対して一歩を踏み出すことができました。自分自身としても、瀬平地区の方々と一緒に、番所鼻で実践してきたことを展開することができ、公民連携によるパークマネジメントに向けて、更なる学びを得ることができました。

イベントについては、まん防期間中のため、今回もテイクアウト形式での実施となりました。早い段階でのSNS告知や公民館・地元商店へのチラシ配布など告知にも力を入れ、また、イベントとしての充実を図るため、物販を増やしたり、ちょっとした遊びを楽しめるプレイゾーンを設けました。快晴の中での開催ということもあり、非常の多くのお客様にお越しいただきました。

一方で、番所鼻公園は11～16時ごろまではほぼ満車状態でピーク時は停められない車もあり、駐車場等の課題も改めて感じたところでした。

ファーマーズマーケット「アグリビッツ」は農家さんの繁忙状況などもあり、4月再開の方向で調整中です。公園でのイベント等の詳細については、SNS等で発信していきます。



2. 番所鼻公園の森の取り組み

森の活動については、今年度より NPO 森と木の研究所さんと協働で進めています。2 月 15～16 日に防風垣、土留め、デッキ型のベンチを頒娃おこそ会のメンバーと一緒に製作しました。防風垣は、先日植樹した苗木や保安林内の樹木を潮風から守るためのもので、土留めは、潮風等で露出してしまっている樹木の根を保護したり、台風時に根が浮き、倒れかけている樹木を立て直したりするために製作しました。

またデッキ型のベンチは、背もたれやテーブルとしても使えるように段差をつけたタイプと、寝そべって樹冠を眺められるタイプを製作しました。

今後も防風垣やウッドチップの道、子どもたちが楽しめる木の遊具など、森の環境を良くしながら楽しめる空間にしていく取り組みをしていきたいと思っています。



3. シーホーウォークの案内マップ作成

番所鼻公園と釜蓋神社をつなぐ散策路「シーホーウォーク」について、まずはしっかりと情報を伝えていくために、劣化していた案内看板の更新と Googlemap を活用した WEB マップを作成しました。

案内看板では各コースの特徴や難易度、所要時間などとともに、WEB マップによる詳しい情報にも誘導できるようにしました。WEB マップではスマホからルートと現在地を確認したり、見どころと合わせて、注意箇所や潮の満ち引き、退避路、トイレ、交通情報などの情報も確認できるようにしました。

今後は、台風等で外れたり、無くなってしまっている誘導看板の整備などと合わせて、より安心して楽しんでもらうための方法を考えていきたいと思っています。

地域おこし協力隊活動報告書



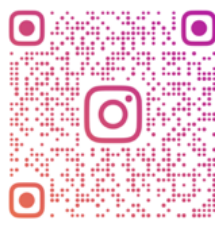
▲案内看板の更新



▲WEB マップの作成

■ SNS

□番所鼻自然公園



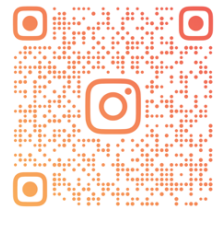
BANDOKOROBANA_PARK

Facebook ▶ 「番所鼻自然公園」

Instagram ▶ @Bandokorobana_Park

@agribits_farmersmarket

□ふれあい瀬平公園



EIFUREAISEBIRAKOUEEN

Facebook ▶ 「顔娃ふれあい瀬平公園」

Instagram ▶ @eifureaisebirakouen